

会 議 報 告 書	
会 議 名	平成29年度第4回草津市社会教育委員会会議
日 時	平成30年2月19日(月) 自 10時00分 至 11時45分
場 所	草津市役所4階 行政委員会室
出 席 者	委員：横山委員長、辻本副委員長、石本委員、鈴木委員、 岸本(修)委員、仁科委員、岸本(岳)委員、内田委員、 山本委員、安達委員、西川委員 事 務 局：田中教育部副部長、相井生涯学習課長、吉田参事、 小島専門員 傍 聴 人：なし
会議関係書類	<input checked="" type="checkbox"/> 有(別添のとおり) <input type="checkbox"/> 無
記録作成者	生涯学習課 氏名 吉田 万里 内線(2773)

## 1. 開会

### 【生涯学習課長】

本日はお忙しい中、御出席をいただきまして、ありがとうございます。

定刻になりましたので、平成29年度第4回草津市社会教育委員会会議を開催させていただきます。

本日委員は16名中11名の御参加をいただいておりますことを、御報告させていただきます。

また本会議は草津市市民参加条例により、市民の皆様にご覧いただくことになっております。現時点では傍聴者はおられません、随時入られることもありますので、御報告させていただきます。

それでは早速ですが、議事に移らせていただきます。以後の進行につきましては、委員長をお願いいたします。

## 2. 教育長挨拶

### 【委員長】

おはようございます。

いよいよ、今期の社会教育委員会会議は今回が最終ということになります。

今日の議題は、お手元にありますように、前回から見ていただいている「体系的な生涯学習システムの構築」の提案書、これを3月の下旬に私から教育長へ提出させていただく予定でございますが、それに際しまして委員の皆様にご覧いただくことと、事務局から今後のスケジュールやイメージについて御説明をいただきたいと思っております。

そして、後段はこうした市民大学がつくられていく中におきまして、社会教育委

員の任期は終了いたしますが、皆さんそれぞれが御活動されていらっしゃる方ばかりでございますから、今後、我々はどのように携わっていけるかといったところを中心に、忌憚のない話し合いをしたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。

#### 【事務局】

それでは、早速ではございますが、次第に従い進めたいと思っております。

はじめに報告事項でございますが、先般、2月14日に第2回生涯学習フォーラムが開催され、A委員に御参加いただきましたので、御報告をお願いいたします。

#### 【A委員】

先日2月14日、竜王町で開催されました生涯学習フォーラムに参加いたしました。テーマは「地域活動をいかした人づくり・まちづくり」でありましたが、内容がかなり幅広く、まず一つ目が事例発表で、竜王町の公民館の取り組みについて館長からお話がありました。「竜王町」にちなんで、「ドラゴンカレッジ」というネーミングで月に1回講座をされていて、特に気を配っている点が大勢の方に参加していただきたいということで、夜開催して、仕事帰りの方でも参加できるように、夜7時から開催されているという講座がございました。青年学級として20代、30代の方の学校もあります。シニア世代の方を受け入れ、社会参加を促すという意味での講座もございました。注意されている点は、そういった講座を修了された方の受け皿を、常に出口を考えながらしかけづくりをされているところを注意していらっしゃるということでした。事例としては、歴史講座が開催されて、その講座を受けられた方が次に観光ボランティアをされるというような流れをきちんとイメージしてつくられていたということでした。草津にもいらっしゃると思うんですけど、講座を企画するコーディネーターの方、園長先生であるとか民生委員の方々であるとか、いろいろな幅広い方で人選をされていました。

もうひとつ、雲南市の取り組みをお聞きしました。子ども、若者、大人と3つの世代に向けたチャレンジを連鎖して、持続可能なまちづくりにつなげようと活動されています。雲南市は合併してできた市で、人口4万人でなおかつ、高齢化率が36.5%、先端を走っているとおっしゃってましたけど、いかに持続ができるまちづくりをしていくか、危機感を持って取り組んでいらっしゃいます。キーワードとしては、チャレンジ。次の10年先を見据えて市民と一緒にまちづくりをすることで、チャレンジを合い言葉に、まちの持続可能性を高めていく、魅力のあるまちで若者たち、子どもたちに、次の世代の方がそのまちに残ってもらえるようなまちにしようということで、人材育成、若手人材の掘り起こしをイメージされていました。若者のチャレンジということを重点的に伺ったのですが、広く他府県からも人を呼んで来て、まちづくり、企業人材としてもみんなと一緒に、知恵を出し合い取り組んでいらっしゃいます。大人がチャレンジする姿を子どもに見せるとい

う、子どもも巻き込んで地域の課題、今こういう課題があるよということも教えながら検討を進め活動につなげていらっしやいます。中学生、高校生にも出会いをつくりながら多様性を与えて、学校の外へ出ていく講座を実施しておられます。円卓会議を開いて、若手を育成していくということもおっしゃっていました。関係人口、つながる人口をどんどん多くしていこう、人口は4万人でも関係していける人間をふやしていこうということで、協働を超えて、総働のまちづくりというようにおっしゃっていました。

最後にワークショップがありました。豊郷、日野、東近江、野洲、高島といろいろなところから参加されていて、公民館のあり方などそれぞれが問題を抱えながらやってらっしゃるんだなというようところがわかりました。

### 【委員長】

ありがとうございます。雲南市は小規模多機能自治という言葉を生んだところで非常に全国的にも有名なんです。1カ所の公民館、コミュニティーセンターといったところに、福祉や防災や支所機能やそういったものを全部1つにして、小規模な施設なんですけどいろんな機能を持ってコミュニティーを維持していこうという取り組みを真っ先に取り組まれたところとして、各省庁から、生涯学習の面だけではなく地域自治、過疎化対策そうしたところの取り組みとが着目されたところであります。ポイントは幾つかありますが、大きなものが全庁的な取り組みということなんです。総働という言葉がありましたけど、草津市は人口面では雲南市よりはまだ危機的な状況ではないですけど、しかし20年先はどうかといえ、私はそんなに楽観的ではいけないと思います。その中で、全庁的な取り組みをきちんと考えていくということが、今回我々がつくろうとしているみらくるカレッジの根底にあると思います。

それから、竜王町の取り組みにも学ぶところがあって、開催時間の設定ですとか受け皿をしっかりとつくって循環していくというところですね。そして、支援機能をどう構築していくかというのがポイントだと思います。今のAさんの御報告に关しまして御質問がないようでしたら協議事項に入りたいと思います。

最初に、前回から修正があった点、今後のスケジュール等について事務局から説明をお願いします。

### 【事務局】

前回会議の後、委員の皆様からの御意見等はございませんでしたので、前回の会議の中でいただいていた修正、事務局内で検討させていただいて改善を加えた箇所について簡単に御説明をさせていただきます。

内容について大きく変更を加えたという箇所はございませんが、文言の修正を行ったところにつきましては、本文に下線をつけています。大きく変更しましたのは提案部分で、6ページをお開きいただきたいと思います。

前回の素案から、もう少しコンパクトになるよう、項目をまとめて配置の入れかえもさせていただきます。

まず、6ページ、7ページ見開きでみらくるカレッジ本校と地域校、支援体制の全体像をまとめました。

8ページ、9ページの見開きは、本校と地域校の詳細を掲載しています。前回会議で御指摘のありました本校の拠点について、「当面は市役所や市立まちづくりセンターが想定されます」という表現を加えさせていただきました。

地域校についてはイメージ図を加え、本校で学んだ人が地域で生かしていく流れと、本校の学びが自分の住んでいる地区だけに生かされるというのではなくて、横のつながりもあるというイメージなどが持てるよう改善しました。

続いて10ページですが、みらくるカレッジの支援体制ということで支援体制のイメージ図を示させていただきました。支援体制と支援組織の使い分けになりますが、支援組織は中間支援組織であるとか市民団体、大学など多様な主体が緩やかにみらくるカレッジの本校や地域校の学習活動を支援する集合体で、行政の立場、全体を調整する社会教育主事を含めた支援体制としてまとめました。コミュニティ事業団や、提案頂いた社会教育委員の皆さんも支援組織に入ると思うのですが、核となるメンバーとして、社会教育主事と協力しながら支えていくイメージ図となっています。

また、素案の中では運営組織とし、いずれかの時点で活動を担っていくと記載をしていましたが、みらくるカレッジが発足して熟するまでは、支援体制が大切でありますことから、運営組織という表現は削除しました。また、前は支援組織の具体的な団体名を載せていたのですが、あくまでも提案の段階ですので今回は特定の団体名は修正をさせていただきました。

2つ目の項目は、持続可能な仕組みとするために、既存事業を活用すること、地域活動については振り返りを行うことが次のステップを生み出すために大切なものであり、この振り返りにあたっては社会教育委員や社会教育主事も、ともに振り返ることが必要だとまとめさせていただきました。

あわせて、カレッジを展開していくスケジュール案についても御説明をさせていただきます。

お配りした資料1を見ていただきたいと思います。平成30年度、31年度、32年度以降と示させていただきます。

平成30年度は、まず庁内調整を考えております。まちづくり協働課、健康福祉政策課、危機管理課、環境課など地域課題と直結しているという観点から、特に核となる関係課との調整をしていきたいと思っております。また、それぞれの課で行っている学習事業を調査しまして、目的や対象などで分類・分析を行い、みらくるカレッジの開講に向けた学習計画を立てていきたいと思っております。

並行して支援組織の発足を進めていく必要がありますが、初めは意見交流であるとか、緩やかな関わりが持てるようなしなやかなまちづくりを並行して進めていきたいと思

っています。平成31年度には、先行して入門科、本科の開設を考えています。カレッジの周知であるとか、学習活動ごとにアンケート調査を行い、参加傾向や課題などを整理して解決の糸口、そういったものを参考に進めていきたいと思ひます。

地域課題解決学科、専科についてはより専門的な学習機会が提供できるように、専門機関であるとか大学とも連携を図るようなことを探りたいと思ひますので、その開設に向けての準備も必要になってきます。

平成32年度以降につきましては、それぞれのタイミングがあるかと思ひますが、地域課題解決学科の開設、地域校につきましてはモデル校を設定しまして、好事例の情報発信などを行いながら順次地域校の開設を進めていきたいと思ひています。

学びの地域支援講座や生涯学習情報の発信は、地域校開設に向けて内容の充実を図りながら、継続して取り組みを続けていきたいと思ひています。

#### 【委員長】

最終の機会ですので、何か御指摘等ございましたらお願いいたします。

提案書につきましては、私が皆さんの代表として、3月23日に教育長と市長にお会いしお渡しする機会をいただきました。全庁的な取り組みにしていくためには市長や教育長に認識をしていただかないと、生涯学習課だけで進められるというものではありませんので、イメージを持っていただけるようお願いをしようと思ひています。

#### 【B委員】

本校・地域校とありますが、本校の校長、地域校の校長は誰になるのか。イメージでは、本校の校長は市長、地域校は各地域でまちづくり協議会の会長かなと思ひていますが、どうでしょうか。

#### 【委員長】

これは考えてはいないと思ひます。何か名称をつけるのに本校・地域校にしていますが、そのために校長先生がいらっしゃるわけじゃなくて、こうした市民大学等でそこまで厳密な長を置くことは余りないかと思ひます。

#### 【A委員】

何年か前に、紺色の生涯学習手帳というものが草津市でありました。何冊も集める方もおられたみたいですが、また復活してもおもしろいかなと思ひます。自分の学びの記録をしていって、ポイントがたまったらうれしいことがある、今の健康ポイントみたいな感じの生涯学習版ができて、おもしろさというのがあるといいかなと思ひます。

**【委員長】**

それは今もあるんですか。

**【事務局】**

以前は、マナビマークがついた講座を受けると、その手帳にスタンプを押してもらって、自分が学んできた記録になる手帳がありましたが現在は終了しています。

**【委員長】**

今、お話のあった健康と一緒にしてもいいと思うんです。これは健康福祉部局に御了解をいただいて、どの講座に出てもポイントがたまっていったら何かプレゼントするなど、そういうインセンティブや表彰したりということは意味があることですから、また考えていってもいいかなと思います。

**【C委員】**

御近所の方がもうすぐ定年を迎えられるんですが、何をしたいかわからないとおっしゃっていて、友達もいないし、退職して話す人もいなくなると心配されています。健康ポイントのカードはしっかり持っていらっしゃるのですけれども。そういう方は、出かけるきっかけが多い方が、機会にもなってお友達もできたりするんじゃないかなと思います。

**【委員長】**

ぜひ、健康福祉部局と調整いただきたいと思います。相乗りしたほうが予算もそれぞれ別に持つよりはいいと思いますから。おもしろい御意見をありがとうございます。

**【D委員】**

地域校での活動は、支援組織や社会教育主事等のサポートが必要であると書かれています。社会教育主事ですが、行政の中で資格を持っている方がおられるということですね。

**【事務局】**

社会教育主事の有資格者は庁内にも何名かいます。生涯学習課には2名の社会教育主事を配置、発令させていただいて、ニューズレターの発行など生涯学習情報の発信をさせていただいたり、御相談に応じさせていただけるようになっています。

**【D委員】**

過去に社会教育主事を持っていながら他部署に異動したという方もおられると思います。そういう方も場合によっては教育してもらおうと、そういうことも考えてい

たほうがいいのかと思います。

**【委員長】**

おっしゃるとおり、役所は異動がありますから資格を持ってらっしゃる方が必ず生涯学習課で勤務できるかといえばそうじゃないんです。でも、私も他の自治体を見ていますが、まず社会教育主事資格を取得させて配置しているところ、かつ2名も置いてるところは貴重です。全然置いてないところもある。そういう面では草津市はしっかりされていると思います。2名で十分かどうかというのはあるかもしれませんが、2名で各学区を訪問するのはできないことではありませんし、むしろこれから全庁的な取り組みにしていくわけですから、各課へ散らばっている社会教育主事有資格者はぜひそういったときに主導的な役割を果たしてもらうように呼びかけるということはいいかなと思います。社会教育がわかっている人が各課におられれば、各課がまたそれぞれの立場で市民大学に関わってもらおうということが非常に大事なかなと思います。

**【委員長】**

貴重な御意見をありがとうございました。この提案書をもちましてこの社会教育委員会議のまとめとさせていただきます。教育長、市長に提出させていただきますので、皆さん御了承いただいてよろしいでしょうか。どうもありがとうございます。

それでは議題の後段、今後の活動のまとめについて、事務局から説明をお願いいたします。

**【事務局】**

皆さんに御意見をいただきまして、こうして提案書がまとまりました。社会教育委員会議でつくり上げたみらくるカレッジに、元社会教育委員としてどのように関わっていけるか、また関わっていきたいかという御意見をいただきまして、今期の社会教育委員会議のまとめにしたいなと思っております。

本編の中で、みらくるカレッジは多様な主体との協働で進めていくと触れさせていただいています。多様な主体というのは、産・学・公・民それぞれがいろいろなつながりがあるのかなと思っています。例えば、学と産がコラボしたらこんな学習機会ができるのかとか、そこに自分だったらどういうふうにつないでいけるかなど、自由に御意見をいただけたらと思います。

**【委員長】**

それでは、これは全員から御発言いただきたいと思います。このみらくるカレッジは今後、つくり上げられていくわけですが、社会教育委員の任期を終えた後も、どうやってみらくるカレッジを市民全体で盛り上げていくか、どういうふ

うに関われるのか、忌憚のない御意見をいただきたいと思います。

**【E委員】**

以前、原子力モニターというのをやっていたことがあります。このみらくるカレッジで、いろいろなことに関心を持つ人が増えればよいと思います。

**【F委員】**

私は今、ママさんと子育て支援というのを中心に活動しているんですけど、その立場からいうと、産・学・公・民のつながりという中で、いろいろ立場で関わっていきたくと思っています。NPOという組織もしかり、今任意団体、PTAも関わっているんですけど、いろいろな経験が人をつないでいくという、主軸にもなれるんじゃないかなと、できるだけいろいろな人をつないでいきたいと感じました。

**【C委員】**

産・学・公・民の話を書くとなるほどと思うんですけど、草津市って大きいですよ。どんどんマンションができて人もふえて、主婦の皆さんが興味を持たれるようなイベントなり説明会なりを開催して、いろいろなところへ同行していったりすると、何かいろいろ案が出てくるのかなと。私は会社めぐりが好きで、グループで会社に見学やお話を聞きに行っています。そうすると最後に、「何かうちのメーカーに関して意見のある方いますか」と聞かれたりします。例えば、牛乳パックの注ぎ口のアイデアも一般の方が考えられたものとのことで、行きたくないなと思っていても、連れていってもらえると結構楽しいかなと。

**【委員長】**

そういうツアーがあってもいいですよ。

**【A委員】**

地域の草津の企業めぐりっておもしろいと思います。誰かがコーディネートしてもらわんとできないから、社会教育委員が声をかけて。

**【委員長】**

企業めぐりを講座として設けてらっしゃる自治体もあります。例えば商工部局、そういったところにつくってほしいなと思います。

**【D委員】**

地域校の運営には、交付金を出すのですか。

### 【事務局】

みらくるカレッジ地域校として、交付金は考えていません。先ほどおっしゃったように、例えば公共施設めぐりとかあるいは市内の企業めぐりとか、お金はなかなか難しいので、知恵を絞ってということになると思います。

もう一つは、寄附金、ファンドというのも勉強していかなくちゃいけないなというようなことは思っています。少しずつ事例を研究していかなければいけないと思います。

### 【G委員】

一つはある程度まち協が主体になっていかなければいけないと思っています。先ほどA委員のお話の中にコーディネーターの継続性とありましたが、まち協の中で社会教育事業の継続性ということを見ると、現在の社会教育委員を含めて、これまでの社会教育委員が地域における社会教育継続性といったところにかかわっていくことが重要なことになると思います。どうしても役員が変わっていく中で、社会教育委員が地域の中できちんと活動していくことが重要になってくると思っています。

先ほどD委員から評価の話がありました。当然PDCAサイクルの中でいろんな評価をしていくわけですが、そのためには一定目標は決めておかなきゃいけないなというふうに思っています。一定の数値目標というのを目安にしてなければ基本的に事業の規模とどういうふうに展開していくかという計画が立ちませんので、みらくるカレッジにおける数値目標的なものを設定した上で、それをもとにしてのPDCAサイクルの展開といったことが必要になってくるかと思うし、それがあってによって、外部の方々についても、どういったものをどういった規模で展開しているのかというのが、ある程度具体的に見えてくるようになるんじゃないかと思う。そのあたりのことも含めて議論していただくといいかなというふうに思います。

### 【委員長】

参加者数をいかに集めるかというのも一つの評価でございますから、各課にぜひお伝えいただきたいと思っておりますのは、全庁的な取り組みにすることによって、各課がそれぞれやってらっしゃる講座の参加者数がふえるという効果があるんです。それがこのメリットなんです。逆に言えばそれでも集まってないというような講座は見直さないといけないわけです。実際のカリキュラムをつくっていくときに、その辺もあわせて考えておく必要があります。

### 【H委員】

前回の素案のときには、生涯学習課が引っ張っていくという気持ちがすごく強かったんだけど、今回は主事が調整していくというふうに変っていたので、そこ

がすごくいいんじゃないかなと、いい流れになっていくんじゃないかなというふうに思いました。私個人としては一般市民の方と同じ目線で学んでいけるように、まずは事業に参加することから始めたいと思います。

#### 【B委員】

これからが30年度、31年度、32年度が大事だということで、案をつくってもそれがだめになるのか、それともこれを発展しようとしているのか、その辺を見きわめる意味で、あと2年、社会教育委員としてやっていきたいなと思うのと、地域では、町内会長をさせてもらって、先ほど雲南市の話が立場は違うんですが、草津市は13万5,000人ほどでその1割の1万3,500人ぐらいが志津の人口なんです。私の町内会は101世帯で高齢化率40%近くと。この1月に来年度の会長、副会長、会計、組長さんが7組あって、皆さん70代と。高齢化というのはわかっていましたけど、そういう意味でまちづくり協議会が大事やということで本校、地域校あるけど、どのようにすれば地域の皆さんが幸せになるのか、学びたいと考えています。

#### 【岸本委員】

社会教育委員になったときには、一体何の仕事をするのかと話をしていました。

社会教育委員というのはすごく幅が広いですよ。小学生だけ相手にしてるとか、学校関係だけを相手にしていればいいわけじゃない。子どもから大人、老人まで。間口が広いといい面もあるんですけど、もうちょっと絞って何かできることはないのかなというふうにも思ったりもします。2年間させてもらって、いつも座って話をするという、会議形式でしかないんでね、2年間の中に1回だけでもいいですから、市役所から出てどこか見学に行くとか、そういう部分もあってもいいのかなと思います。

#### 【A委員】

せっかく提案ができて、これを外から見守るのではなくて、ぜひ自分たちも運営に関わっていききたいなという気持ちは、皆さんお持ちだと思いますので、元OB、社会教育委員として有志の会みたいなものがあれば、どんな形でも関わらせていただけたらうれしいなというふうに思います。

私自身は、くさつパールプロジェクトの代表としてこちらに参加させていただいているんですが、くさつパールプロジェクトというところが2分野の事業をしております、一つがまちづくりという視点で一般の人間が市政に興味を持って、審議会などに女性の比率を高めるという意味にもおいて、市政に参加意識を持って関わってほしいと、皆さんの意識を高めていくという活動しておりますので、これは生涯学習というのは欠かせない分野なんです。意識づけ、意識を高めて、市がどういったことをやっているのかということも意識しないとわからない。そういったこ

とも意識づけするという意味でも講座は大事なことです。もう一つが、男女共同参画課と、女性活躍を応援していこうという分野なんですけど、こちらでも半年、学びを深めていくというような講座もあります。その中で自分ができることが何か、自分の持っている力で、自分も輝きながらまちをいきいきさせていくことができるんじゃないかということ学びながら実践していくという団体なんですけど、まちづくり協議会など地域に出て行って、地域の方々の声を聞かないと自分の力がどう生かせるかというのは具体的にはわからないと思いますので、自分の事業をコミュニティビジネス化していくという手法を学べれば、地域の課題も解決しながら自分の力が生かしていける、そういった方々が今後もどんどんとふえていくんじゃないかなというふうにも思います。この関わる方のイメージが、先ほどから全庁というふうにおっしゃってますけど、コミュニティビジネスというのを成長させていこうと思うと、やはり商業ですね、商工観光労政課のお力も恐らく必要になってくるだろうと思いますし、コミュニティ事業団もコミュニティビジネスということでやってらっしゃると思いますので、みらくるカレッジは平成32年度からもどんどん続いていくと思うんですけど、平成32年といいますと市民総合交流センターが竣工するのが、今の予定では4月ごろですが、そちらに行きますと、草津の社協福祉を担当される社協も、商工会議所も全部が一つの館に入ってくるわけで、これを生かさない手はないと思いますので、そういったところの皆さんとの絡み、こういったところにビジネスの事業所さん、商工会議所などと福祉系の地域の課題をよく知ってらっしゃる中間組織としての社協さんにも参加いただいて、地域課題解決のプログラム、学びを通して生かしていくプログラムができていけば、もっと制度がどんどんと高まっていくんじゃないかなというふうに思います。

**【委員長】**

なかなか提案には明記できないですけど、市民総合交流センターは一つの拠点として重要だと思っています。コラボというのは非常に大事ですよ。

**【A委員】**

もう一つ、情報発信って大事だと思いますので、えふえむ草津、草津インターネットでも情報発信していますので、そういった部分でも情報発信としてもかかわらせていただければ。

**【委員長】**

あと、ホームページつくったほうがいいですね。

**【副委員長】**

いろいろと御意見を伺わせていただきまして、ありがとうございました。大変私も勉強になりました。

この2年間参加させていただいて、本当に生涯学習というのが非常に重要だなと改めて認識をさせられました。どちらかというと、学校教育というのは全国的にも注目が高いんですけど、学校の中で学び続ける子ども、教員もそうなんですけど、学び続けることができるその人を育成するというのと言われてるし、決して学校教育と生涯学習は切り離して考えるものではないなと私は思っています。

地域の方が、こういう講座を通して学校にもっといろんな人が入ってこれるような学校にしなければならないなというふうに改めて思っています。外へ子どもたちが出ていくことは比較的多いんですけど、社会がそこは着地点なので、そこを見ながら学校教育を進めていくのは大切なんだけど、地域の方が学校にもっと来ないといけないのかなというふうに思いました。ある中学校では、図書館は子どもが利用できるだけでなく市民の方も入れるという施設になってるんです。そういう仕掛けも大切だし、本校でやったうどんづくりもそうですし、前任校では、私、畑をつくって特別支援学級の子どもたちに地域の方がその畑づくりと一緒に、土づくりからずっと一緒にやっていただくということをしたこともあって、ウィンウィンの関係でないと長続きしないし、この前ある研修に行ったときに、学校にこたつを置いたらどうですかという話がありましてね。先ほど、退職して何をしたいかわからないという方ね、そういう困り感を持つてる人がそこにふらっとくると。そこでお茶飲んでしゃべってるだけでいいんです。学校では困り感を持った者同士が集まると新しいものが生まれてくる。そこでいろいろと生まれてくるし、そういう場とか機会を学校でも提供できればいいなと思っております。学校では、働き方改革といって今全ていろんなことを学校が担い過ぎていた部分と言われてるわけですけど、部活動でも、地域の方にもっと担っていただくというのも一つの方法かなというふうに思いますし、非常にこれから学校が生涯学習を意識して発信しなければならない場と、機会を提供していかなければならないという部分は大きいかなというふうに感じております。

#### 【委員長】

皆さん、それぞれ貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございました。事務局の皆さん、来期以降、ぜひ御検討いただきたいなというふうに思います。

それでは、議事としましては以上とさせていただきます。

まだ任期はありますが、会議としてはこれでおしまいでございます。皆さん、どこかの機会でお会いできると思いますけど、ひとまずお礼を申し上げたいと思います。皆さん、ありがとうございました。

#### 【生涯学習課長】

それでは以上で、第4回草津市社会教育委員会会議を閉会いたします。ありがとうございました。